

# 讀書の選擇

虛空子

近頃出版界が非常に賑かになりました、従つて日々刊行せらるゝ書籍の数は殆んど數へきれないほど澤山であつて、所謂汗牛充棟も雷ならずといふ有様であります、勿論その内には種々の種類があつて、或は専門の學科に關するもの、或は科學の類、或は辭書類、或は教科書など到底詳細なる區別をすることは出来ぬが、特に少年少女諸子の讀物として世に出されたものだけでも甚だ多數であつて、その良否を選擇するといふことは、かゝる際にとりわけ必要なことであります、勿論いづれの部類に屬する書籍でもそれを購入するにはよく／＼その内容實質を知つて、果して有益であるか否かを考へることは肝要に相違ないが、就中少年少女の讀物に關してはその選擇に一層重きを置かねばなりません、そして最早丁年以上に達した人にとつては自分みづからその良否の判断が出来ますからさまで心配はないが、未だ小學校の門を

出ぬものや中學校に在學して居る位の年令の人はまだ十分に思想が發達して居らず、従つて判断も頗る幼稚ですから、此等年輩の人の讀物の選擇は實にその父兄又は監督者たるもの、當然たる責任であります思ふに現今多數の書籍が出版されるのは單に供給者たる出版業界が發達したといふに止まらずして、又それだけ需用者たる讀書者界が進歩して來たのであります、そこで進歩發達といふことは決して悪が善となり害が益となり、醜が美となるといふ意味でなく、すべての生活の程度が高まつて來たのに過ぎないのであります、詳しく言へば、あらゆる事物が複雑になつて自然職業が分業的となり、そして活動は組織的になつて來たのが世の所謂文明で進歩すれば進歩するに従ひ、發達すれば發達するに従つて善悪美醜利害得失皆その度を高めて來るのです、そしてこれが人生の價值あり趣味ある所以なのであります。

これに依て書籍が多數出れば出るほどその中には善いものもある代りに又悪いものも少なくなはなりません、従つてこれが選擇を層一層注意を加へな

ければならぬのみならず、殊に少女少女の讀書の選擇如何即ちその良否如何によつては將來の發達傾向の上に及ぼすところの影響が極めて偉大なものであつて、これがために往々世の父兄諸氏が大切の子弟の成長に誤らしめ、延いて全般の教育上にも非常なる困難弊害を與へるやうに到ることがあるのであります。

要するに讀書の選擇は少女少女時代に最も肝要であつて、これが保護者たり、養成者たり、監督者たる父兄教師等は深く注意してその責に當り、以て彼等子弟の發育を完うせしむるやうにせなければなりません、而して少女少女の讀書は概して利害得失といふことよりも彼等の趣向によりて誘はれ導かるゝもので、その趣向といふことは又最初に興味から習慣的に養成せらるゝものでありますから幼少な時代より兒童に適當な讀物を選び與へ、且つ周囲の感化によつてその趣向を正しき方向へ漸次進めて行くといふ風にとめなければならぬ、これは單に父兄といふよりも家庭全体に係して居ることですから誰しも常にその心得を持

たねばならぬこと、信じます。

## 此頃の料理

石井泰次郎

深 皿 烏賊、竹の子、山椒の芽あへ  
 烏賊は足を取り去り、甲を出し二つに切り、開き皮をひき去りてよく洗ひ、巾二三分、長一寸位のたんだくに切り、ざつと鹽湯にて湯煮す、(湯鍋の中にに入れて二分間位)

竹の子は小さきものを皮をむき、よく湯煮して小口より一分厚さに切り、かつを煎汁、醬油、砂糖等にて下煮をなし置く。

普通の味噌を摺ばちに入れてよくすり、うらこしになして鍋に入れ、味噌五十匁に對して砂糖二十匁、みりん酒三合、水三勺位の割合に加へ、火にかけ木杓子にてよく煉り、

次に木の芽を摘みてよくあらひ、これもすりばちにてよく摺り、前の味噌の大方煉れて固くなりし所へ入れ、共によく混ぜ鍋をゐろし、右のいか、